

第1回「日本語大賞」

テーマ 「人と人をつなぐ日本語」

小学生の部 優秀賞 受賞作品

「友達への第一歩」

京都府

京都市立御所南小学校 6年

川渕 真夏

友達への第一歩

京都市立御所南小学校 六年

川淵 真夏

わたしが人と人をつなぐと思った言葉は、「いっしょにやろう」という言葉です。

この言葉は、わたしがかけてもらった言葉です。わたしがバレエの教室に入ったばかりのころ、まだ友達がなくて、一人ぼっちでした。だから、あまりなじむことができませんでした。でも、教室の子たちは、そんなわたしのことをそっと気づかせてくれていたのだと思います。だからこそ、ある日、一人の子がわたしに声をかけてくれたのだと思います。

その時、わたしは一人で帰る用意をしていました。ほかの人たちは、おしゃべりしながらゆつくりと用意をしていました。そんな時、一人の女の子がわたしに「いっしょにやろう」と言ってくれたのでした。きつと、一人でいるわたしのことを気にかけてくれたのだと思います。わたしはその時、とてもうれしくなりました。その日を境に、わたしはバレエ教室の子たち全員と仲良くなりました。そして、バレエ教室に通うことも、バレエを踊ることも好きになりました。また、楽しみになりました。

今はみんながウラスになってしまっているけれど、同じバレエ団なので、発表会の時などに会うことがあります。今でもみんなと友達です。

わたしは、「いっしょにやろう」という言葉のおかげで十人といっしょに友達になりました。この言葉は、友達になるための第一歩の言葉だと思います。いっしょにやることで、会話することも増えるし、お互いの良い点や悪い点を見つけてくれることもできて、踊りも上手になります。そして何より楽しいです。いっしょにやるということは、協力するということでもあります。一人でできないことも友達と協力するとできることが増えます。

この言葉は、人と人をつなぐ、とてもいい言葉です。今度は、わたしからだれかにこの言葉をかけたいと思います。そして、もっともっと友達を増やしていきたいです。みんなにも、この言葉をだれかにかけてほしいと思います。